

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド(愛称:攻守のチカラ) 最近の運用状況について

2015年9月16日

平素は、「りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド(愛称:攻守のチカラ)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

先週(9月第2週)は、リスク選好指数が大きく低下したことを受けて、株式会社りそな銀行の助言に基づき、当ファンドでは、
臨時に資産配分の見直しを実施し、安定重視資産の組入比率を引き上げ、成長重視資産の組入比率を0%としました。

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日(2013年10月21日)～2015年9月14日

2015年9月14日現在

基準価額	10,163 円
純資産総額	13億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-2.9 %
3カ月間	-2.8 %
6カ月間	-4.3 %
1年間	-2.4 %
3年間	----
5年間	----
年初来	-4.5 %
設定来	+1.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものです。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

◀ 主要な資産の状況 ▶

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド(MF)別構成			資産別構成		
ファンド名	比率	合計99.0%	資産別	銘柄数	比率
安定重視資産	国内債券MF	68.1%	国内債券	219	59.8%
	先進国債券(為替ヘッジあり)MF	31.0%	外国債券	175	30.6%
	新興国債券MF	---			
	国内株式MF	---			
成長重視資産	先進国株式MF	---			
	新興国株式MF	---			
	国内REITMF	---			
	先進国REITMF	---			
			コール・ローン、その他		9.5%

通貨別構成			
通貨	比率	通貨	比率
日本円	99.9%	スイス・フラン	-0.0%
ユーロ	0.0%	スウェーデン・クローネ	-0.0%
英ポンド	0.0%	ノルウェー・クローネ	-0.0%
メキシコ・ペソ	0.0%	南アフリカ・ランド	-0.0%
ポーランド・ズロチ	0.0%	その他	-0.0%

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【2015年9月14日の保有資産状況について】

当ファンドは、資産配分比率(安定重視資産と成長重視資産および各資産クラスの配分比率)について株式会社りそな銀行からの助言を受けます。安定重視資産と成長重視資産の配分比率の助言は、複数のグローバル関連指数を合成して作成する『リスク選好指数』を参考にして行われます。

＜マザーファンド（MF）別構成＞

(2015年9月14日時点)

	ファンド名	比率
安定重視資産	国内債券MF	68.1%
	先進国債券(為替ヘッジあり)MF	31.0%
成長重視資産	新興国債券MF	0%
	国内株式MF	0%
	先進国株式MF	0%
	新興国株式MF	0%
	国内REITMF	0%
	先進国REITMF	0%

※比率は、純資産総額に対するものです。

先週(9月第2週)は、リスク選好指数が大きく低下したことを受けて、当ファンドでは臨時に資産配分の見直しを実施し、安定重視資産の組入比率を引き上げ、成長重視資産の組入比率を0%としました。

8月中旬に入り、相次いで中国による為替レートの切り下げが発表されたことで、中国をはじめとした世界的な景気減速懸念が再認識された結果、原油をはじめとした資源価格および世界各国の株価が軟調に推移しました。一方、長らく市場の関心を集めてきた米国の金融政策正常化の時期については、米国雇用統計が継続して堅調な結果を示してきたことに加え、8月下旬に開催されたジャクソンホール会合において、フィッシャーFRB(米国連邦準備制度理事会)副議長の講演で9月の利上げが否定されなかったことなどから、利上げ時期に対する不透明感を高める要因になりました。

このような環境下において、8月末以降、これまで各国中央銀行の金融政策によって底堅く推移していた先進国の株式やリートなどのリスク資産が全般に急落し、参考にしているリスク選好指数が大きく低下したことを受けて、当ファンドでは臨時に成長重視資産の組入比率を引き下げる資産配分の見直しを実施しました。

今後についても、安定重視資産および成長重視資産の組入比率を、市場の局面判断に基づいて調整していきます。

以上

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド (愛称: 攻守のチカラ)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

内外の債券、株式およびリート(不動産投資信託)に投資を行ない、市場の局面判断および投資対象のリスク水準等によって配分比率を調整することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

- 8つの資産クラスの配分比率を調整することで分散投資を行ないます。
◆投資対象を相対的に価格変動リスクが小さいと考えられる資産(安定重視資産)と相対的に価格変動リスクが大きいと考えられる資産(成長重視資産)に区分します。



※各資産クラスへの投資にあたっては、各市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。

※先進国国債・株式・リートの資産クラスには、日本の国債・株式・リートを含みません。

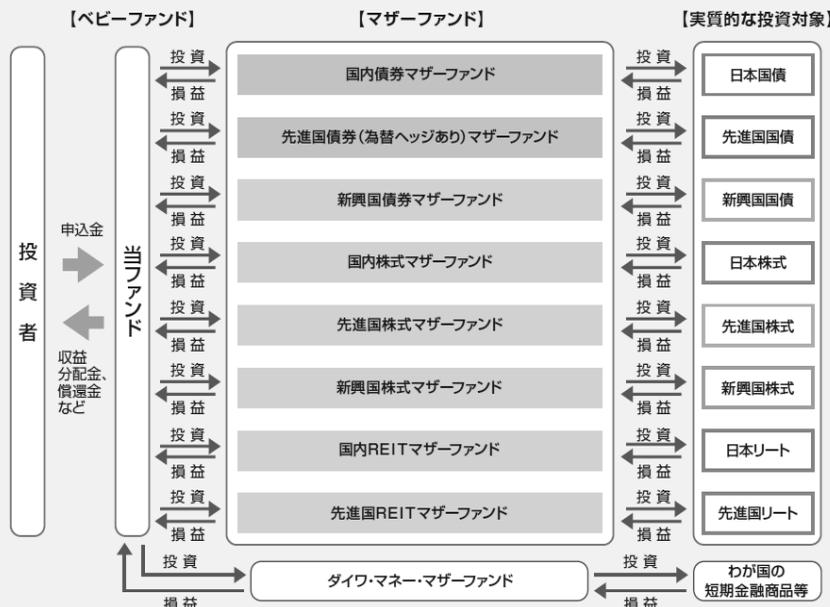
- ◆安定重視資産および成長重視資産の組入比率を、市場の局面判断に基づいて定期的に見直します。



*市場環境によっては、信託財産の全部または一部を、わが国の短期債、コマーシャル・ペーパー等による運用に一時的に切り替える場合があります。

- ◆安定重視資産内および成長重視資産内での配分比率は、投資対象のリスク水準等を勘案して決定し、定期的に見直します。
 - リスクの低い資産クラスの配分比率を高くする一方、リスクの高い資産クラスの配分比率を低くするよう調整します。
- 2. 資産配分比率について株式会社りそな銀行の助言を受けます。
- ◆成長重視資産と安定重視資産の配分比率および各投資対象資産クラスの配分比率等の助言を受けます。
- 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみならずから預かりした資産をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

りそな ダイナミック・アロケーション・ファンド (愛称: 攻守のチカラ)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク (株価の変動、公社債の価格変動、リートの価格変動)」、「有価証券 (指数) 先物取引の利用に伴うリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「当ファンドの戦略に関するリスク」、「その他 (解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.296% (税抜 1.2%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間の最初の6か月終了日 (休業日の場合翌営業日) および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:



りそな銀行

埼玉りそな銀行

近畿大阪銀行

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

株式会社りそな銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第3号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

株式会社埼玉りそな銀行
登録金融機関
関東財務局長(登金)第593号

日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

株式会社近畿大阪銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第7号
日本証券業協会

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会